

JRAにおけるギャンブル等依存症対策の取組状況について

2025年12月12日

日本中央競馬会

1 指針を踏まえた広告・宣伝の抑制

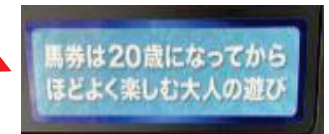
- 公連協において2022年3月「公営競技施行者連絡協議会広告宣伝指針」を策定し、同年7月に「日本中央競馬会・広告宣伝指針」を策定しており、適切な運用に努めていく

2 普及啓発の促進

- レース開催の告知媒体等において「馬券は20歳になってから ほどよく楽しむ大人の遊び」等の注意喚起標語の表示を行い、馬券発売機において注意喚起標語ステッカーを掲示した
- ギャンブル等依存症問題啓発週間(5/14～5/20)に、JRAHP・メールマガジン・場内ITV、競馬中継、レーシングプログラム、JRAアプリ等において啓発週間を告知した。また、啓発週間において大学生向けにギャンブル等依存症および依存症対策に関するセミナーを実施した

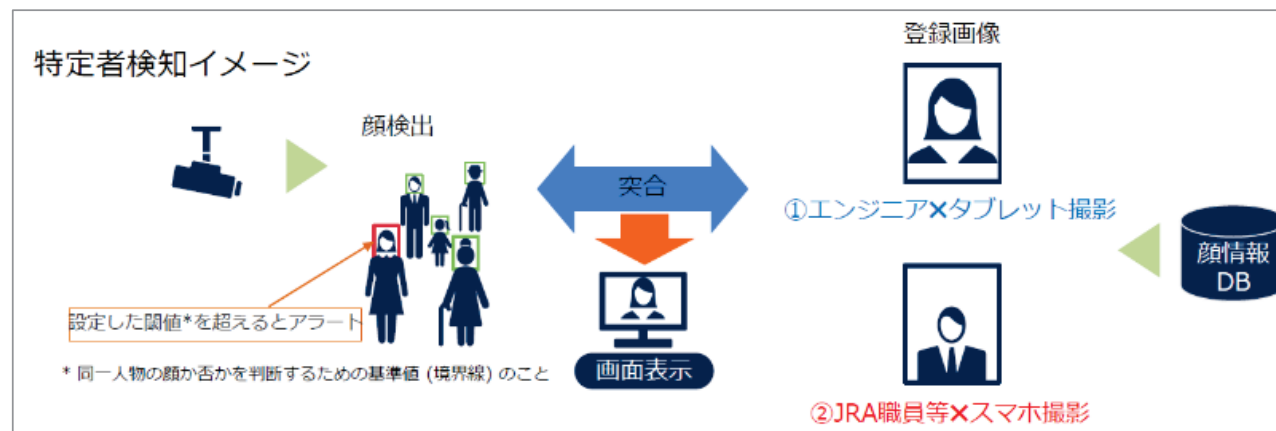
1. 基本的な考え方

中央競馬の広告・宣伝等は、過度に射幸心をあおる内容にならないよう留意する。また、勝馬投票券を購入することが禁じられている20歳未満の者に対し勝馬投票券の購入を禁止することや、ギャンブル等依存症の抑止のため、「のめり込み」を防止し節度ある購入を促す等の配慮を行う。



1 本人・家族申告によるアクセス制限の強化及び個人認証システムの活用に向けた検討

- 2017年に本人申告、2018年に家族申告による「競馬場・ウインズにおける入場制限」制度を開始した
- 競馬場および場外馬券発売所において、入場口及び馬券発売機付近への警備員配置の強化、警備員の場内巡回数の増加を実施することで対象者の把握および入場制限(来場時に退場を促すお声掛け)を実施する
- 競馬場における個人認証システム活用に向けた実証実験を東京・札幌・函館競馬場等において実施した。しかし、素顔での認証精度は向上しつつあるものの、マスク・眼鏡着用時等で同一人物を検知できないケースがあることから、検出精度の向上に関する情報を収集しつつ、引き続き、競馬場等での入場管理のあり方について検討を行っていく



2 競馬場・場外馬券発売所における20歳未満の者の購入禁止の強化及び個人認証システムの活用に向けた検討

- 2017年に「20歳未満の者への対応要領」を作成。警備員等に対する教育・指導を徹底した上で、警備員等による声掛け及び年齢確認を行い、20歳未満の者による馬券の購入及び場外馬券発売所への入場を防止している
- 競馬場における個人認証システム活用に向けた実証実験を東京・札幌・函館競馬場等において実施したが、誤検知の事象が高い割合で発生しており実用可能な水準に達していないことから、引き続き、検出精度の向上に関する情報を収集していく



3 インターネット投票におけるアクセス制限の強化

- 2017年に本人申請および家族申請による利用停止制度、2020年に購入上限額設定制度を開始
- 2023年に「インターネット投票サイトにおいて購入制限を視覚的に訴えるための新たな表示方法」を導入

4 競馬場・場外馬券発売所のATMの撤去

- 2022年に競馬場および場外発売所の全ATMの撤去を完了した

即PAT・A-PAT

加入者番号

暗証番号

P-ARS番号

☐ 次回から暗証番号のみを入力

ログイン

加入者番号等が不明な方は [こちら](#)

• 新規登録 (即PAT) は [こちら](#)

【注意事項】

- 一旦成立した投票内容の取消・変更は一切できません。
- 通信エラーなどが発生した場合は、正常に投票されているか必ずご確認ください。
- スマートフォン本体やブラウザの「戻る」・「進む」ボタンは使用しないでください。

馬券は20歳になってから ↓ JRAのギャンブル等依存

• 馬券は20歳になってから JRAのギャンブル等依存症対策

[「JRAダイレクト」ログインはこちら](#)

[「UMACAスマート」ログインはこちら](#)

ネット投票ログイン画面

JRA

馬券は20歳になってから JRAのギャンブル等依存

今週の注目レース情報

福島	11/22(土)	福島記念	GI
京都	11/23(日)	マイルチャンピオン	GI
東京	11/24(月)	東京スポーツ杯2歳	GI

レース情報

天気・馬場状態・変更情報 **更新**

11/15(土) 11/16(日)

東京 京都 福島

1R 2歳未勝利

ダート 1400m 16頭

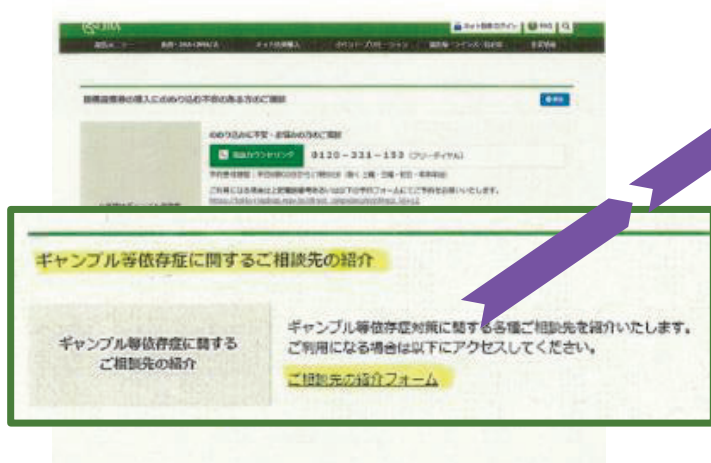
結果 動画

ホーム 競馬・レース 馬券購入 レースライブ アプリ設定

JRAアプリ

5 アクセス制限の利便性の向上に向けた取り組み

- 「ギャンブル等依存症に関するご相談先等の紹介」のコーナーを新たに設置。「ご相談先のフォーム」をクリックしたお客様に対し、フォームにおける簡易診断、アクセス制限制度、対策全般に関するお問い合わせ等の選択を提示しそれぞれの制度に関する情報が記載されたメールが返信されるシステムを整備する



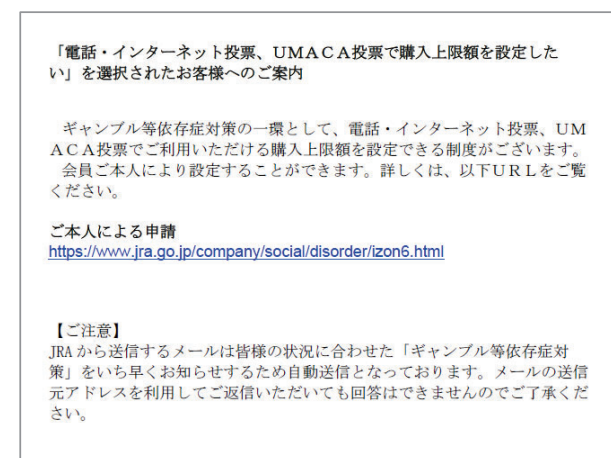
JRAHP上に「相談先等の紹介」を設置

The Google Form is titled 'ギャンブル等依存症に関するメールサポート' (Email support for gambling addiction). It asks the user to select one option from the following list:

- ☐ インターネットでギャンブル等依存症の簡易診断を行いたい
- ☐ 競馬投票券の購入にのめり込む不安・悩みがある
- ☐ 電話・インターネット投票、UMACA投票で購入上限額を設定したい
- ☐ 電話・インターネット投票会員の利用を停止したい
- ☐ 競馬場・ウインズへの入場制限に関する問い合わせを行いたい
- ☐ その他（ギャンブル等依存症対策全般に関する問い合わせ等）

At the bottom, there are buttons for '送信' (Send) and 'フォームをクリック' (Click form).

Googleフォーム上で相談先等を選択



相談先等の情報をメールにて返信

5 アクセス制限の利便性の向上に向けた取り組み

- 競馬場・ウインズへの入場制限(本人申請)を申し込む方のために、入場制限申請書および入場制限申請書(記入例)をJRAHPに掲示し、お客様が事前に作成することを可能とした(2025年5月開始)

The image shows a sample of the '入場制限申請書' (Access Restriction Application Form). It includes fields for '氏名' (Name), '生年月日' (Date of Birth), '性別' (Gender), and '住所' (Address). There are also checkboxes for '本人申請' (Personal Application) and '代理人申請' (Proxy Application). The form is titled '入場制限申請書' and has a subtitle '（※ 申請書は、入場制限申請書と入場制限申請書（記入例）をJRAHPに掲載し、お客様が事前に作成することを可能とした（2025年5月開始）'.

入場制限申請書

6 インターネット投票データ分析及びクレジットカード決済

- インターネット投票の分析に関しては、利用停止制度を利用されたお客様のデータを用いて、分析を行うことを検討中(お客様のデータを活用することに対する法的な問題も併行して検討)
- クレジットカードを利用したインターネット投票については、クレジットカードの利用において返済額の増加との関連が指摘される「分割払い」「リボルビング払い」等を認めない。また、1か月当たりの利用上限を10万円に設定し、過度の利用を防止する

※公営競技施行者連絡協議会としての取組み

1 民間団体等に対する経済的支援

- 公営競技でまとまって支援を行うこととし、2023年度は3団体、2024年度は4団体、2025年度は3団体に支援を行った

2 公営競技ギャンブル依存症カウンセリング センター等における相談体制の強化

- 2018年に専門スタッフ(臨床心理士)がカウンセリングを行う公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンターを設置した
- ギャンブル依存症カウンセリングセンターへの相談については、ポスター、リーフレット、ウェブサイト等で積極的に周知しており、今後はセルフチェックツールからアクセスする方法も導入する



3 セルフチェックツールの普及等によるギャンブル等依存症の早期発見・早期介入

- 2021年からセルフチェックツールをJRAホームページに掲示し、ギャンブル等依存症の早期発見・早期介入(二次予防)につながる取組みとして開始した
- 今般、相談窓口の積極的な周知を図るとともに、セルフチェックツールを利用される方に対して、カウンセリングセンターを紹介することで相談・治療につなげる取組みを開始(2025年11月)
- 具体的には、セルフチェックツールを利用される方に対して、診断の画面において「漫画で解説！アクセス制限制度」のバナーを掲示し、公連協HP内の紹介ページへの遷移を促すことでアクセス制限制度の利用を促進する

診断結果

ギャンブル依存症疑い

あなたは「ギャンブル依存症の疑い」があるようです。また、ギャンブル依存症の罹患に状態が変化しやすい精神障害等。半数以上の方が一年後にには依存症の基盤から外れる可能性があります。半年から外れた場合は、一旦やめる人や、元のレジャーギャンブルに戻るなど様々です。是非以下のアドバイスを参考に、一年後にギャンブル依存の基盤から外れるための工夫をしてみてください。もしギャンブルを継続するのであればギャンブル依存と向き合、随分の工夫が必要です。また、ギャンブルを一旦止めるのであれば、ギャンブルを「楽しみたい」と考えるだけではいけません。より詳しいアドバイスをご希望の方は是非下記をご利用ください。



のめり込みに不安のある方へ
「マダガで解説!」アクセス制限制度」
マンハは右のバナーをクリック



公営競馬ギャンブル依存症カウンセリングセンター
 0120-321-153 (有線電話でのカウンセリング)
 (通話料・相談料無料、年末年始を除く平日09:00~17:00)

<https://tms-soudan.com/gamble/> (メールでのカウンセリング)
 (受付から3営業日より以前に返信いたします)

【一財】ギャンブル依存症予防の医療支援センター
 全てのギャンブルのご相談に対応しております。
 サポートコール 0120-683-705
 (通話料・相談料無料、年中無休・24時間受付)

[illegible][illegible]



ギャンブルの問題でお悩みなら・・・
一人で悩まず、まずは相談してみましょう。



全国公営競技施行者連絡協議会

公営競技ギャンブル依存症 カウンセリングセンター

お電話でのカウンセリング
Webでご予約

電話でご予約


0120-321-153

予約受付時間
平日9時～17時（年末年始除く）

Webでご予約



020-321-153

24時間 予約受付

メールでのカウンセリング

QRコード



<https://mc.seuton.com/gambl/>

受付から数ねた翌日よりメールが届きます。

QRコード



詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://www.koeigyogi.jp/addiction/gcc.html>

アクセス制限制度の紹介

各競技の問合せ先

カウンセリングセンター の紹介

漫画で解説！アクセス制限制度

診断画面におけるバナー掲出

1 従業員教育の推進等による依存症対策実施体制の強化

- 「ギャンブル等依存症対策に関するお客様対応マニュアル」を活用して、ギャンブル等依存症対策に関する十分な知識を有する人材の確保・養成を行っている。2025年にはギャンブル等依存症の治療・回復に従事している精神科医による職員講習会実施した
- 2018年以降、e-ラーニング「ギャンブル等依存症対策について」を全役職員を対象に毎年実施している
- セルフチェックツール、JRAのアクセス制限制度、公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター等について紹介するリーフレット「ギャンブル等依存症について」を競馬場の従業員等にも配布し、本会の行うギャンブル等依存症対策への認識を高める



精神科医による講演(2025年)

2 ギャンブル等依存症対策実施規程による対策の強化

- 2020年に広告・宣伝の抑制、各地域の包括的な連携協力体制への参画、ギャンブル等依存症対策最高責任者の設置等に関する事項を盛り込んだ「ギャンブル等依存症対策実施規程」を策定しており、必要に応じて改定していく



リーフレット